

1/1 朝日

# 辺野古ノート行動 再開へ

## あす ゲート前からネット配信

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設の阻止を目的として「オール沖縄会議」は2月、コロナ禍で昨年10月以来中断していた、毎月第一土曜日の県民大行動を、密

を避け、コロナ禍でも継続できる「ブルーアクション」として再開します。同日は11時から、辺野古ゲート前からのネット配信で県内外を結びます。新基地建設の現場では、コロナ禍でも強行される工事への不屈のたたかいが続いています。

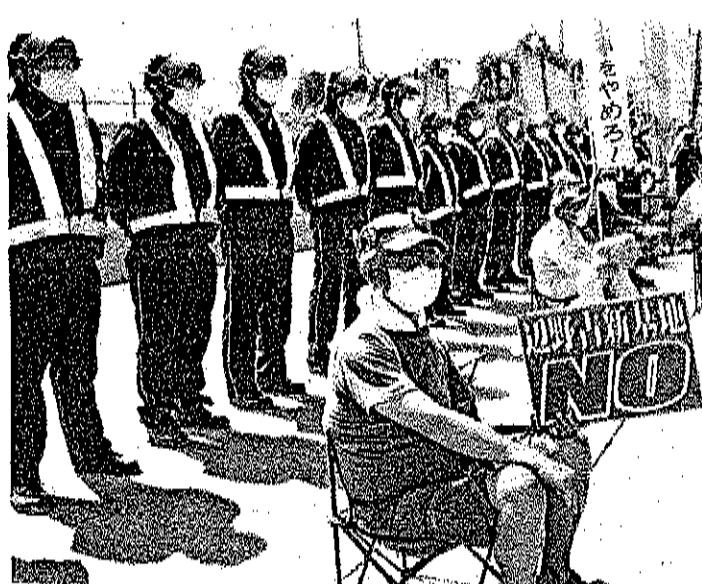
(前田泰孝)

27日正午、辺野古ゲートわいわいの田も工事車両十数台が列をなしていました。

ゲート内に入ったの田の車両台数は、1日約50～270台。(へり基地反対協議会) オール沖縄会議は宣言中、ゲート前行動を休止しましたが、それでもやむにやまれぬ人が数人、毎日やってきます。この田も、工事車両がゲートに入る午前の時と正午、午後3時の3回、抗議者たちは淡々と足でその場を離れます。機動隊とのみ合へをやめろ！」

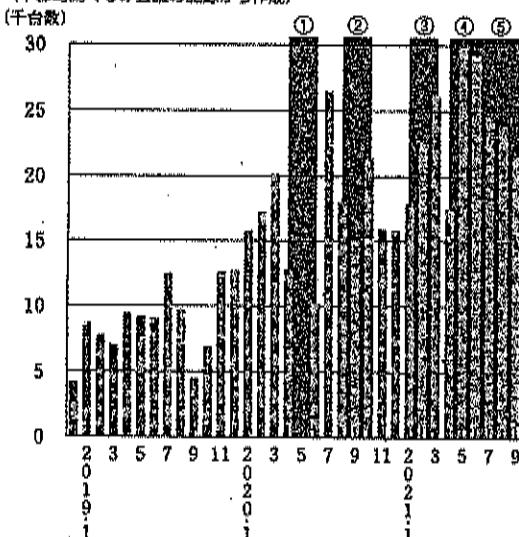
新型コロナ感染症対策のため、間隔をあけて座り込む入たが27日、沖縄県名護市辺野古の米軍キャンプ・ショウブゲート前

基地NO」のプラスターを掲げ抗議の意態を示しました。「移動していくぞ」と機動隊のアナウンスが始まります。コロナ禍前なら、一人ひとりが運び抜きする排除となりますが、しかし田、抗議

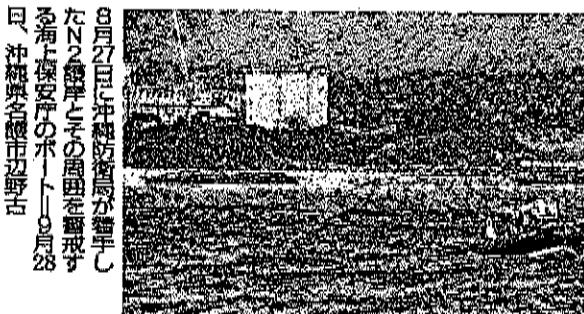


# 「宣言」中も大量土砂搬出

- 琉球セメント安和機橋と塩川港に停泊する土砂  
運搬船に土砂を運び入れたダンプの台数  
(本部町島ぐるみ会議の記録から作成)
- ① 2020年4月16日から5月14日まで  
特措法に基づく緊急事態宣言
  - ② 2020年8月1日から9月4日まで  
沖縄県独自の緊急事態宣言
  - ③ 2021年1月20日から2月28日まで  
沖縄県独自の緊急事態宣言
  - ④ 2021年4月12日から5月22日まで  
まん延防止等重点措置
  - ⑤ 2021年5月23日から9月30日まで  
特措法に基づく緊急事態宣言



## 辺野古監視 コロナ下全国に発信



8月27日、沖縄防衛局が監視する海上保安庁との周囲を警戒する辺野古



金井創さん

### (一面のつづき)

28日前前8時すぎ、辺野古港  
港から抗議船で海へ。台風の影  
響で海はしけ、船は上下左右へ  
と波に遊ばれます。この口、海  
上の作業に動きはありません。

海上の抗議行動も感染防止対  
策に余念がありません。抗議船  
は定員の半分、カバーは上限8  
艇まで。船の中ではお耳じた距  
離を守り不要な話は慎みます。  
「コロナ禍でも工事の進捗の  
監視は必要。全國と発信する務  
めがある」と金井さんは行動の在  
り方に苦心する人々がいる一

口ナ禪のわりでの運動の在  
り方に苦心する人々がいる一  
万を超える2018年12月の調査  
開始から、20年末までの3つの  
月のみ。21年以降は2万台を超  
えが常態化し、緊急事態宣言後も  
2万台超えが続いているので  
す。

### スマホを通じて

同会議事務局の阿波根美奈子

それでも、辺野古側の埋め立て  
地では動くコンボ(油圧ショベ  
ル)が。

### 対照的な国の人々

驚きの調査データがありま  
す。本部町島ぐるみ会議調べで  
明らかになった、辺野古の埋め  
立てと使う土砂を搬出している  
ダンプトラックの台数の推移。

琉球セメント安和機橋と塩川港  
に停泊する土砂運搬船ごと砂を  
入れたことが確認できたダン  
プの台数を累計したものです。  
まん延防止等重点指揮監視中  
の12月の搬出量は2万台のON  
台分。調査開始以降最大です。

12月23日には沖縄県に緊急事態宣  
言が発出された直後の6台や、  
2万台のON台分ほどとなり変わ  
りません。

す。

前田の金井さんは「オンライン  
人集会のよなよな、スラボなどを  
通じて一人ひとりがより主体的  
につながれねえんだ」とだらこま  
す。

「オンライン」と同じく、辺  
野古はコロナ禍とは別世界。コ  
ロナ禪でこれだけ命を犠牲にし  
ながら、命を奪う基礎建設を続  
ける、このことは何なのか。ど  
う考え、行動すべきか、一人ひ  
とりが問い合わせなければ、大衆会に期待してい  
ます。



阿波根美奈子さん